

原発の問題

問 原発における「アルカリ骨材反応試験」のデータは有害と認定されていたが偽造したという内部告発に対する行政としての事実確認や対処方法は

答 中部電力よりの報告では調査の結果規制値を下回っていた。又、建設から10年以上たっているが有害なひび割れはない。又、国は事実関係の聞き取りと必要なデータの収集を行い、健全性について確認を得た。市としてはその結論を待つて対応を図る。



幼児教育

問 幼稚園の発足にあたっては地域・保護者・現場で働く人たちの意見を十分聞いて進めるべきだ。佐倉幼稚園は今後の御前崎市の幼児教育の方向を大きくかえるもので、開園にあたり御前崎市の8幼稚園と4保育園それぞれのありべき目的を十分理解したうえで、具体的な方針・展望を施策として持つべきでは

答 幼稚園と保育所は所管官庁が違い、即「幼保一元化」で運営することは困難である。

新市発足にあたって幼児教育推進の指針を「各地域の特性を生かし、各施設が特色ある保育・教育を目指す」としているのが、地域と結びついた、より質の高い幼児教育を推進したいと考えている。

農業法人化と

基盤整備推進について

問 農地を保全し、農業を存続させる為には、農業法人化が必要であります。法人化の為の手続き、手法等研究する協議会を設置すべきと考えます。又、茶園の基盤整備を計画的に進めることが必要でその体制づくりが急務と考えますが、いかがですか

答 農業後継者が減少する中、農業を効率的かつ安定的な経営を図ることが必要でありその為には法人化することが有効な手段の一つであると考えます。市には現在「経営生産対策推進会議」が組織されており、この組織を活用することにより、法人化に向けての手続き、手法等の研究を進めて参りたいと考えております。また、基盤整備につきま

しては、当面は農地の利用調整を推進して、茶園の集積（貸し借り）を図って参りたいと考えております。

観光拠点づくりと、

地場産品の活用について

問 遊客対策をどう進めるのか又、地場産品の活用が産業振興の上必要と思いが

答 観光資源を今一度見直すと共に観光拠点となる施設の再整備やそのネットワーク化を図りながら、新たな観光ルートづくりなどに早急に取り組んでいかなければならないと考えております。観光振興を図る上で、地場産品を積極的に活用することも極めて重要でありますので、地場産品を扱っている施設の整備、充実や施設間の連携を推進して参ります。